

適性植物一覧（外部用）

H27.2

	名 称	色 系	特 性 ・ 備 考
	アジガ シソ科 多年草	葉：緑茶系 花：紫	春に花が咲く。明るい日陰で育つ。 耐寒性あり。乾燥に弱く適湿な土を好む。 表面が乾いたらたっぷりと水やりをする。
	アペリアホープレイス スイカズラ科 低木	葉：黄色系斑入 花：白～薄紫系	3～5月頃開花。日向～半日陰で育つ。耐寒性がある。 乾燥に強く、しっかり根付けば水やりの必要はほとんどなし。 真冬の休眠期に剪定を行う。
	イワハバ イワハバ科 シダ植物	葉：濃緑系	主に岩場等に自生する。乾燥すると枝全体が内側に巻き込み丸くなる。水分を補給すると数時間～数日で枝を輪生状に広げる。 盆栽など観賞用に広く用いられる事が多い。
	ウラジロ ウラジロ科 シダ植物	葉：濃緑系	正月のお飾りに使われる。主に疎林で日当たりのよい所に群生する。栽培は非常に難しく、大きな株の移植は特に困難なので、ごく小型の苗から栽培する。
	オキナヤブラン ユリ科 多年草	葉：白-緑系 花：薄紫系	耐寒性がある。花期：8～10月 11～12月頃光沢のある黒い実が成る。新葉の時だけ白い葉で、徐々に緑色に変わる。 半日陰～日当たりよい所で育つ。乾燥に強いので、水のやりすぎに注意する。
	オレガノ シソ科 多年草	葉：濃緑系 花：薄ピンク、 薄紫系	6～7月に花が咲く。料理の香り付けとして多く使われる。 日当たりのよい所で育つ。耐寒性に強い。 多湿に弱いので、刈り込んで風通し良くする。
	カランコエ ベンケイウ科 多年草 多肉植物	葉：濃緑系 花：白、黄色、 オレンジ、ピンク系	1～5月に花が咲く。乾燥に強く多湿を嫌うので、水のやり過ぎに注意。春から秋は日当たりのよい所で育て、冬は室内の明るく日の当る所で育てる。
	キソケイ モクセイ科 低木	葉：薄緑系 花：黄系	4～7月に花が咲く。日当たりのよい所を好む。耐陰性があるので半日陰でも育つ。表面が乾いたら水やりする。 剪定は花後すぐに行う。
	コシダ ウラジロ科 シダ植物	葉：濃緑系	乾燥した山野に密な群落を作る。生育・特性はウラジロによく似ている。葉が硬く二叉分岐している。ウラジロより小型。
	コリウス シソ科 観用植物	葉：赤、ピンク、 黄色、薄緑系	初夏～秋頃にきれいな葉が色づく。直射日光で葉焼けし枯れる 乾燥に弱いので水切れに注意する。11月頃は室内の日の当たる所に置く。挿し木で増やせる。
	シバ シバ科 落葉性シダ植物	葉：濃緑系	半日陰で育つ。乾燥に強いが、多湿を好む。耐寒性あり。 湿度を良く持つ為、霧吹きをする。 冬越しはやや乾燥気味にする。
	シラン ラン科 宿根草	葉：濃緑系 花：紫、白系	3～5月頃開花する。日当たりのよい所で育つ。夏の葉焼けに注意。耐寒性に強い。適度な湿度を好むが、乾燥にも耐える。 表面が乾いたらしっかり水やりする。花後、少量の肥料を与える
	ジンチョウゲ ジンチョウゲ科 低木	葉：濃緑系 花：薄ピンク系	花期3～4月香りのよい花が咲く 日向～半日陰 適湿を好む。 乾燥させないでしっかりと水やりをする。植付の際、腐葉土を多めに入れ、肥沃な土壌にする。

	名 称	色 系	特 性 ・ 備 考
	セイボウイワナンテン ・アキシリス ツツジ科 低木	葉：濃緑-赤系 花：白系	耐寒性、耐暑性強い 日陰に強い。花期4～5月、グランドカバーにもできる。水はけよく適湿を好む。 春と夏は乾燥させないようにしっかりと水やりをする。
	ゼラニウム フクロウソク科 多年草、一年草	葉：黄緑、濃緑、赤紫系、斑入り 花：赤系、ピンク系、紫系 他	花期4月～11月 日当たりよく風通し良い所で育てる。真夏は半日陰が適する。アロマオイルとしても使用される。乾燥に強い。水やりは乾燥気味でよい。
	タイム シソ科 多年性小低木 ハーブ類	葉：濃緑系 黄色系斑入り 花：薄紫、ピンク系	花期4～6月、9月 日向～半日陰で育つ。 香水の原料、口内清涼剤、防腐剤、保存材として使用。
	チリメンカスラ キョウチクトウ科 つる性植物	葉：黄系 花：白系	花期6月 豆盆栽、ミニ盆栽として仕立てられる。 5～7月頃剪定 日向～半日陰で育つ。水はたっぷり与える。 冬は控えめにする。表土が乾きすぎないように注意。 多肥を好む。生長期は月1回で施す。
	ツツジ ツツジ科 低木	葉：濃緑、黄緑系 花：ピンク、白、紫、薄ピンク 他	花期4～5月 施肥1月 5～6月 日向を好み、乾燥を嫌う。 たっぷり水やりをする。特に鉢植えは水切れに注意。 剪定は花後6月上旬までに行う。夏以降にすると花芽を落としてしまい翌年の花が少なくなる。
	ツバキ キク科 多年草	葉：濃緑系 花：黄系	花期10～12月 耐寒性強い。半日陰～明るい日陰で育つ。西日は避ける。表面が乾いたらたっぷり水を与える。土質を選ばない。植付の際は堆肥や腐葉土をたっぷり混ぜる。
	テイカカスラ キョウチクトウ科 つる性植物	葉：濃緑系 花：白系	花期5～6月 耐寒性強い。半日陰が向く。水持ちの良い湿潤な土を好むがじめじめした場所は嫌う。表面が乾いたらたっぷり水を与える。
	ハツキカスラ キョウチクトウ科 つる性植物	葉：薄緑に 白・ピンク斑入り	葉の白・ピンク・黄色等の斑入りが特徴。 よく日に当てて育てると美しい斑入りが出る。やや湿潤な土壌を好む。つるが伸びすぎたら短く切り戻す。
	ヒマヤユキソウ ユキノシタ科 多年草	葉：濃緑系 花：淡ピンク系	花期3～5月 やや日陰でも育つ。風通しのよい場所が良い。 耐寒性、乾燥に強い。表面が乾いたらたっぷり水を与える。
	ヒメツツジ ハナ科 多年草	葉：濃緑系 花：ピンク系	花期7～11月 耐暑性 耐寒性に強く、乾燥にも強い。 日向～半日陰で育つ。特に何もする必要はない。広がって群生するので適所を選ぶ。邪魔になるときは切り戻す。
	ヒューケラ ユキノシタ科 宿根草	葉：黄、黄緑、白 赤紫系 等 花：薄紫系	花期 5～6月 日当たりを好むが暑さが苦手。やや湿潤を好み強い乾燥に注意する。植付ける際は深植えにならないように気をつける。
	フリキホウシ ユリ科 多年草	葉：薄緑系斑入り 花：白、薄紫系	花期 6～9月 葉に黄色の斑が入ったのが特徴。 日陰～半日陰で育つ。肥料は3月と9月に一回ずつ。たくさん与えすぎない。大きくなりやすいのでよく考えて選ぶ。
	フリフェラ ヒノキ科 低木	葉：黄系	糸状の垂れた葉が特徴。耐寒性あり。日向～半日陰を好む。 適湿で肥沃な土壌を好む。施肥2～3月か9月頃。 剪定 3～5月頃

	名 称	色 系	特 性 ・ 備 考
	ワイリフッキソウ ツゲ科 多年草	葉: 薄緑系斑入 花: 白系	花期4~5月 半日陰~日陰 湿気が多い所を好む。乾燥を嫌う。表面が乾いたらたくさん水を与える。
	ワイリマサキ ニシキギ科 低木	葉: 薄緑系斑入 花: 白系	花期6~7月 耐寒性が強い 日向~明るい日陰で育つ。 冬に赤い実がなる。剪定春~秋頃 夏~秋は避ける。
	ワイリヤブラン ユリ科 多年草	葉: 薄緑系斑入 花: 紫系	花期: 9月 11~12月頃光沢のある黒い実が成る。斑入りの葉が特徴。半日陰~日当たりよい所で育つ。 乾燥に強いので、水のやりすぎに注意する。耐寒性がある。
	フッキソウ ツゲ科 多年草	葉: 濃緑系 花: 白系	花期4~5月 半日陰~日陰 湿気が多い所を好む。 乾燥を嫌う。表面が乾いたらたくさん水を与える。
	ヘデラヘリックス ウキ科 つる性植物	葉: 濃緑系 花: 黄緑系	花期5~9月 真夏以外はよく日に当てる。耐寒性に強い。 つるが伸びすぎたらこまめに短く切り戻す。 風通しのよい場所で育てる。
	ヘデラヘリックス ・グレーシャー ウキ科 つる性植物	葉: 濃緑系斑入 花: 黄緑系	花期5~9月 真夏以外はよく日に当てる。耐寒性に強い。 つるが伸びすぎたらこまめに短く切り戻す。 風通しのよい場所で育てる。
	ミント シソ科 多年草、一年草 ハーブ類	葉: 薄緑系 花: 白系	6~7月に花が咲く。日当たりを好むが直射日光に弱いので葉が枯れないよう注意する。多湿が好きなので、表面が乾いたらたっぷり水やりをする。清涼感あふれる香りで、冷却・消毒・抗菌効果がある。
	ヤブコウジ サクラソウ科 低木	葉: 濃緑系 花: 白、ピンク系 実: 赤系	花期7~8月 湿潤な土を好み、強い乾燥を嫌う。夏の強い日射しや西日に当たると葉焼けを起こすので注意。 剪定はほぼ必要ない。
	ヤブラン ユリ科 多年草	葉: 濃緑系 花: 紫系	花期: 8~9月 11~12月頃光沢のある黒い実が成る。 半日陰~日当たりよい所で育つ。乾燥に強いので、水のやりすぎに注意する。
	ユキソバ ユキノシタ科 多年草	葉: 濃緑系 花: ピンク、白系	花期3~5月 やや日陰でも育つ。風通しのよい場所が良い。 耐寒性、乾燥に強い。表面が乾いたらたっぷり水を与える。
	ラベンダー シソ科 半耐寒性小低木 ハーブ類	葉: 薄緑系 花: ピンク、紫系	春、秋に花が咲く 耐寒性に強いが高温多湿に弱い。 肥料は控えめにする。透かし剪定で風通し良くし蒸れないようにする。精油を採取し香料として使用。香りは神経を鎮静化する効果がある。
	ローズマリー シソ科 低木 ハーブ類	葉: 濃緑系 花: 紫系	春、秋、冬に花が咲く日当たりよい所で育つ。乾燥を好むので、水やりのしすぎに注意する。冬前に刈込を行う。香りは集中力・記憶力を高める効果や酸化防止・抗菌作用がある。
	ワイヤープランツ タデ科 つる性植物	葉: 濃緑系 花: 白系	花期7~8月 日向~半日陰で育つ 乾燥を嫌うのでたっぷり水を与える。春~秋は生育期なので肥料を切らさない。

